

オーストラリア・テストマッチシリーズ 2017 (アデレード/オーストラリア)

大会名	オーストラリア・テストマッチシリーズ	日 付	2017年11月18日
場 所	Adelaide State Hockey Centre	天 候	晴れ
試 合	第3戦	通算結果	3敗

Country	RESULT	Country
オーストラリア Australia	8	1 日本 JAPAN

1P	2	-	0
2P	2	-	1
3P	1	-	0
4P	3	-	0

Start	No.	Name	備考
✓	1	NANCE Gabi	
✓	4	HURTZ Emily	
✓	5	WELLS Ashlee	GK
✓	6	DWYER Kirstin	
46	7	POWER Aleisha	GK
✓	9	BRAZEL Lily	
✓	10	FITZPATRICK Maddy	
✓	12	PATTERSON Mikaela	
3	15	NOBBS Kaitlin	
✓	18	CLAXTON Jane	C
3	20	SLATTERY Kathryn	
4	21	TAYLOR Renee	
✓	22	RATCLIFFE Madi	
✓	23	HANNA Kate	
	25	FEY Ashlea	
5	29	DAY Jacqui	
4	30	STEWART Grace	
✓	32	FITZPATRICK Savannah	
コーチ		GUEST David	
UMPIRE		ROBERTSON Kristy (AUS)	

Start	No.	Name	備考
✓	1	景山 恵	GK
✓	2	内藤 夏紀	
4	4	藤井 美沙	
✓	5	一谷 麻実	
6	7	平原 文音	
✓	8	真野 由佳梨	
✓	9	永井 友理	
✓	10	永井 葉月	
4	11	野村 香奈	
✓	12	及川 葉	
✓	13	狐塚 美樹	
✓	14	瀬川 真帆	
4	17	一谷 奈歩	
✓	19	金藤 祥子	
3	20	清水 美並	
✓	24	西永 優衣	
46	31	赤谷 衿香	GK
4	32	湯田 葉月	C
ヘッドコーチ		アンソニー ジェイムス ファリー	
UMPIRE		WAGATSUMA Junko (JPN)	

Country	Min	Name	Action	Score
AUS	4	RATCLIFFE Madi	FG	1-0
AUS	10	HURTZ Emily	FG	2-0
AUS	16	NANCE Gabi	FG	3-0
JPN	19	真野 由佳梨	PC	3-1
AUS	25	FITZPATRICK Maddy	PC	4-1

Country	Min	Name	Action	Score
AUS	36	TAYLOR Renee	PC	5-1
AUS	57	FITZPATRICK Savannah	FG	6-1
AUS	57	SLATTERY Kathryn	FG	7-1
AUS	59	RATCLIFFE Madi	FG	8-1

第1Q、オーストラリアとのテストマッチシリーズの第3戦。日本は、第2戦を上回るような高いパフォーマンスを発揮して、オーストラリアに対してきっちり勝利しこのシリーズを終えたいところ。試合開始から、両チームの激しい主導権争いが繰り広げられる。しかし、先手を取ったのはオーストラリア。得意の中盤での速く大きな展開から左サイドのベースラインまで素早くボールを運ぶ。4分、#22 RATCLIFFEがベースラインでボールを忍耐強く運びゴール前にパス。そのボールが日本のDFのスティックに当たりゴールに入ってしまう、先取点を許す。その後、再び、オーストラリアにチャンス。10分、日本DFがボールの処理をミスしたところを素早く突かれ、サークル中央に走りこんできた#4 HURTZにパスをつながれ、上手くGKをかわしながらシュートを決められる。

第2Q、日本は、追加点を許さないためにも徹底して相手をサークルに入れさせないように守るように指示が出る。しかし、16分には、相手のフリーヒットからの早いリスタートにより一瞬の隙を突かれてサークルインされ、シュートされる。それを一度はセーブするがリバウンドを押し込まれ、追加点を許してしまう。日本は、この試合を勝利するために、さらにギアを上げて挑む。19分、日本はPCを獲得する。これを#11 野村がドラッグフリックを打つが相手に止められてクリアされる。しかし、そのリバウンドを#8 真野が拾い、ヒットシュートからゴールを決め、1点を返す。日本は、これを機に流れを引き寄せたいところだが、チームとしてのボールコントロールが安定しない。25分には、今度はオーストラリアがPCを獲得。それを#10 FITZPATRICKにファーストランナーの構えの隙からポストマンのサイドにドラッグフリックをきっちり狙って決められる。

第3Q、日本は、得意とするプレスからも多くのターンオーバーをして相手のゴールを脅かすが、決めきれない。逆に、オーストラリアは、36分にPCを獲得。それをファーポストから#21 TAYLORに、再び、ファーストランナーのライン取りミスを突き、ポストマンサイドの上段にドラッグフリックで狙いすまして決められる。

第4Q、残り15分。日本は全力で守って、全力で攻める。何とかして試合の流れを変えたい。選手全員が一人一人考え、この状況を打破しようと試みるが、ボールコントロールの不安定さが響き、チーム全体として上手く機能しない。一方のオーストラリアは、数少ないサークルエントリーをきっちりシュートまで持って行く。57分、59分には、日本は連続してFGから3失点を許してしまう。結果は1-8の大敗。25ヤードエントリーやサークルエントリー数は日本が圧倒している試合がほとんどであったが、そのあとのシュートからゴールまでの成功率の低さが露呈したものととなった。非常に悔しい結果となったが、世界のトップの国々と堂々と戦って勝つための優先課題が明確になったことを収穫とし、今後の活動に取り組んでいきたい。

オーストラリア	2	-	9	PC数	2	-	5	日本
				シュート数				